

6 故障を自動でお知らせ【自動試験機能】

この警報器は故障を検知したとき、自動的に「警報音」でお知らせします。

注意 自動試験機能では、全ての故障は検知できません。

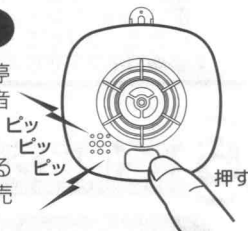
故障を検知したとき…

故障のときは**動作表示灯**が約10秒おきに3回点滅し、**故障警報音**が約50秒おきに「ピッピッピッ」と鳴ります。

故障警報音を止めるには

テストボタンを押すと故障警報音が一時停止します。約12時間後に再び故障警報音が鳴ります。

※動作表示灯は故障の状態が継続している間、点滅し続けます。お買い求めの販売店までご連絡ください。



7 電池切れを自動でお知らせ【電池切れ検知機能】

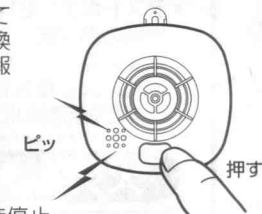
この警報器は電池の残量が少なくなったとき、自動的に「警報音」でお知らせします。

注意 電池寿命は約10年間ですが、お客様のご使用状態により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池切れになったとき…

電池切れのときは**動作表示灯**が約10秒おきに1回点滅し、**電池切れ警報音**が約50秒おきに「ピッ」と鳴ります。

※消防庁通達「消防安第16号」によりすべての住宅用火災警報器は、10年を目途に交換する必要があります。10年を経過した警報器は新しい警報器をお買い求めいただき、交換してください。
(電池を交換して使用することは出来ません)



電池切れ警報音を止めるには

テストボタンを押すと電池切れ警報音が一時停止します。約12時間後に再び電池切れ警報音が鳴ります。
※動作表示灯は点滅し続けます。お買い求めの販売店までご連絡ください。

8 お手入れのしかた

熱感知部の周囲にホコリやくもの巣がつくと、熱を感知しにくくなります。**警報器がより良い状態で動作するように、お手入れをお願いします。**

警告 お手入れは高い所での作業ですので、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようにご注意ください。

- 年に1回は乾いた布で熱感知部の周囲のホコリやくもの巣を取り除いてください。
- 表面の汚れは、布に水または石けん水を浸し、よく絞ってから拭き取ってください。

※水道水等による丸洗いはしないでください。誤動作や故障の原因となります。
※洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナーは表面を傷めますので絶対に使わないでください。



- お手入れ後は「5.ご使用方法(テストのしかた)」に従ってテストをしてください。
- 警報器の交換時期は、通常の使用状態で約10年です。消防庁通達「消防安第16号」によりすべての住宅用火災警報器は、10年を目途に交換する必要があります。

9 故障かな?…と思ったら

テストなどで「故障かな?」と思ったときは、修理やサービス依頼をされる前に、下表に従って点検および処置をしてください。

状態	点検	処置
火災ではないのに警報器が動作する。	コンロや発熱源の直近に警報器が設置されていないか? 調理の熱が滞留していないか?	コンロや発熱源から水平距離で50cm以上離れた位置に設置してください。 窓やドアを開け換気する。
テストボタンを操作しても動作しない。	「2.電源を入れる」操作を行ったか?	「2.電源を入れる」に従い正しく警報器の電源を入れてください。
警報音が50秒おきに「ピッピッピッ」と鳴る。	照明器具の近くに取付けていないか?	照明器具から離す。
警報音が50秒おきに「ピッ」と鳴る。		電池が消耗しているか警報器の故障が考えられます。お買い求めの販売店までご連絡ください。
テストボタンを操作しても動作しない。		
火災警報音が鳴りやまない。		

※上記の処置を行っても解決しない場合は販売店までご連絡ください。

10 アフターサービス

1. 保証書

保証書はこの取扱説明書に付いています。保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

2. 保証期間中に修理を依頼される場合

保証期間はお買い上げ日から1年間です。取扱説明書「9.故障かな?…と思ったら」に従って調べていただき、まだ異常があるときは、修理受付センターへ修理をご依頼ください。

修理依頼される時に必要な内容

ご住所・お名前・電話番号・商品名・商品記号
お買い上げ日・異常内容

3. アフターサービスについてのお問い合わせ

保証期間中の修理などアフターサービスについて不明な点がありましたら、お客様相談センターまでお問い合わせください。

11 電池の取り外し、交換

注意 使用中は電池カバーを開けないでください。電池交換が必要な場合はお買い求めの販売店までご連絡ください。

! 本器と本器に使用の電池は一般の不燃ゴミとして廃棄できますが、具体的な廃棄方法は、お住いの自治体の規定に従ってください。分別廃棄する場合は下記の要領で電池を取り外してください。



12 仕様

商品名	住宅用火災警報器	試験機能	自動試験機能
商品記号	ASS-FHH	警報音量	70dB/m以上
鑑定型式番号	鑑住第20~3号	寸法	100mm×100mm×41.5mm (引掛けフックを除く)
定格	3V 30mA	質量	約100g
電源	3Vリチウム電池(内蔵)	使用温度範囲	0℃~40℃
電池寿命	約10年 ※	警報音	ブザー音「ピー、ピー、ピー」
感知方式	熱式(定温式)		

※頻繁に動作した場合など、ご使用状況により電池寿命が短くなることがあります。

アイホン 住宅用火災警報器 ASS-FHH

定温式 電池方式
自動試験機能付

●消防法令適合品
鑑定型式番号 鑑住第20~3号
●住宅性能表示制度対応品



取扱説明書(保証書付)

このたびは本警報器をお買い上げいただき、ありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は取付後も大切に保管し、いつでも使用できるようにしてください。この警報器は、熱を感知して動作するものです。火災を防止する装置ではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

特長

- ワンタッチ監視機能: 電池内蔵でテストボタンを押すだけで電源が入ります。
- 簡単取り付け: 引掛フック付きで壁面に簡単に取り付けられます。
- スリープ鳴動: 家電製品と区別しやすい気づきやすい警報音です。
- 段階鳴動機能: 警報音は段階的に大きくなります。(約7秒で最大音量になります)
- 自動試験機能: 万が一故障が発生しても自動的にお知らせします。
- 電池容量監視機能: 電池の残量が少なくなると自動的にお知らせします。



この警報器は電源を入れないと動作しません。取り付け前に必ず「2.電源を入れる」を参照して電源を入れてください。

製品保証書

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに基づいた正常な使用状態で異常・故障が発生した場合、無料修理規定の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

■保証対象機種名: ASS-FHH ■保証期間: お買い上げ日より1年間

■お買い上げ日: 年 月 日

販売店		印
-----	--	---

本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

アイホン株式会社

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに基づいた施工・使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - ①無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店もしくは修理受付センター、お客様相談センターへお申し付けください。
 - ②この商品は出張修理をさせていただきますので修理に際し、本保証書をご提示ください。
- 保証対象は、その構成機器を含んだシステムを保証対象機種とさせていただきますが、オプション・追加機器につきましては、各々の機器の保証規定に準じます。
- ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店もしくは修理受付センター、お客様相談センターへご相談ください。
- ご購入品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにれない場合には、修理受付センター、お客様相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には、有料にさせていただきます。
 - ①使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷
 - ②お買い上げ後の取付場所の移転、輸送、落下などによる故障および損傷
 - ③火災、地震、水害、落雷その他天変地異、および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
 - ④本保証書のご提示が無い場合
 - ⑤本保証書にお買い上げ日、販売店名の記入や販売店名印の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - ⑥難易または難易に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - ・この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理受付センター、お客様相談センターにお問い合わせください。
 - ・This warranty is valid only in Japan

お問い合わせ先 [受付時間: 午前9:00~午後5:30]

■修理のご依頼は「修理受付センター」へ ■お取り扱いなどの相談は「お客様相談センター」へ
0120-037-704 0120-141-092
●年無休(365日)受付 ●土・日・曜、夜、およびお盆、年末、
(ご注意: 携帯電話からの相談はできません) 年始、ゴールデンウィークを除く。
携帯電話からは0565-43-1390へおかけください。

まず最初に商品をご確認ください。

※万一、下記の商品が揃っていない場合は、販売店までご連絡ください。



警報器をご使用になる前に

警報器を正しくお使いいただくためや、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書には絵表示をしています。それぞれの表示と意味は以下のようになっていきますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。

■誤った設置や取り扱いによる危害や損害の程度を以下の表示で示しています。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されることを示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う危険が想定される場合および物的損害が想定される場合を示しています。
	「一般的な禁止」事項を示しています。
	「分解禁止」を示しています。
	「必ずおこなう」事項を示しています。

ご使用上の注意

警告

- 警報器は絶対に分解しないでください。
- 警報器を落下させたり衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

注意

- この警報器は熱を感知して動作するものです。火災の防止装置ではありません。
- 警報器を取り付けた部屋の扉やふすまを閉めた時は、他の部屋で発生した火災による熱が警報器までとどかず動作しない場合があります。
- 火災時の熱は上昇するため、2階で発生した火災を1階に取り付けた警報器で発見することはできません。
- 警報器の前に物を置いたり取り付けたりしないでください。警報の遅れの原因となります。
- 改装、改築工事などで粉塵が発生する恐れがある場合には、一旦警報器を取り外すか熱感知部にカバーをしてください。また、工事終了後はすみやかに再設置、カバーの取り外しをしてください。
- この警報器は、消防法で定められた自動火災報知設備には該当しないため、それらの設備への使用や接続はできません。
- この警報器は、火災以外の熱(調理による熱など)により動作することがあります。
- 熱感知部や音響孔に綿棒、異物等をつまみ込まないようにしてください。誤動作や故障の原因になります。
- 音響孔に耳を近づけないでください。警報音により聴力障害などの原因となるおそれがあります。
- 必要以上の力でテストボタンを操作しないでください。故障の原因となります。

1 各部の名称とはたらき

①熱感知部

- ここで熱を感知します。

②動作表示灯(テストボタンの内側)

- 熱を感知すると点滅します。
- 電池切れや故障時に点滅します。

③テストボタン

- 最初にこのボタンにより電源を入れてください。
- 「2.電源を入れる」を参照してください。

- このボタンによりテストや音を止めることができます。

「5.ご使用方法 火災警報音を止めるとき テストのしかた」を参照してください。

④音響孔

- 連続して熱を感知した場合や電池切れ、故障時にここから警報音が出ます。

⑤引掛フック(壁面取り付け用)

- 上部の小さな孔は石こうぐり用取付孔です。

⑥コネクタ式移報リード線取付部

- シールを切り取るとコネクタ式移報リード線を取り付けることができます。コネクタ式移報リード線によりテレビドアホンや増設ブザーなどの外部装置が接続できます。

※移報出力仕様

出力: 無極性無電圧接点
(火災警報時ショート)

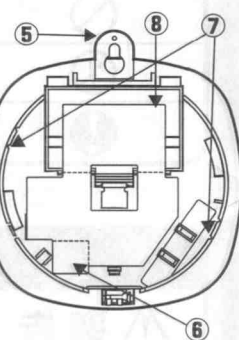
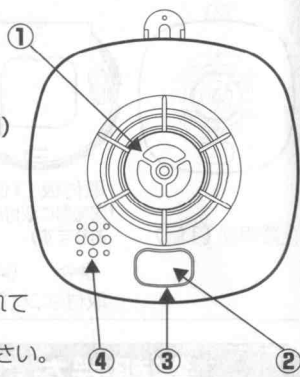
最大定格: DC30V、500mA

⑦通線部

- コネクタ式移報リード線の露出配線を行う際には、ニッパ等でプラスチックを切り欠いて線を通してください。

⑧電池カバー

- 電池カバーの内側にリチウム電池を内蔵しています。



(テストボタンを押す)

3 警報器の取り付けかた

⚠警告

壁や天井などへの取り付けは高い所での作業ですので、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようにご注意ください。

⚠警告

石こうぐりや取付ネジの先端は鋭利になっています。取り付け時に十分注意するとともに、お子様の手の届かない所に保管してください。

⚠注意

警報器の取り付け後は、テストボタンの操作により警報器が落下しないよう、しっかり取り付けていることを確認してください。



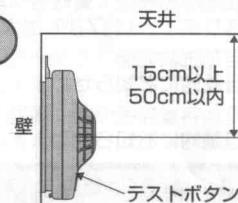
警報器は必ず正しい場所に取り付けてください。誤った場所に取り付けると火災による熱を正常に感知できなかったり、誤動作の原因となります。取り付け場所は、政省令で定める基準に従い市町村条例で定められています。各市町村によって取り付け場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

取り付け場所

1. 警報器の取り付け場所
台所などの壁面および天井面。
2. 警報器の取り付け位置
警報器のテストボタンが操作しやすい位置に取り付けてください。

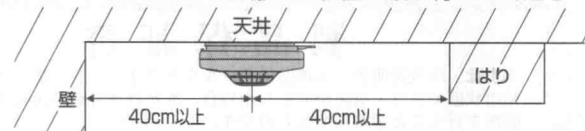
壁面に取り付ける場合

天井面より15cmから50cmまでの範囲に取り付けてください。



天井面に取り付ける場合

壁面またははりから40cm以上離れた位置に取り付けてください。



狭い廊下などで壁から40cm以上離せない場合には中心付近に取り付けてください。

⚠警告

次のような場所には取り付けないでください。火災による熱を正常に感知できない場合や、誤動作や故障の原因になります。



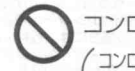
エアコンなど空気の吹き出しの近く
(空気の吹き出しから1.5m以上離してください。)



屋外(この警報器は屋内専用です)



取り付け場所の温度が0℃を下回るか、40℃を超える場所



コンロ等発熱源の近く
(コンロ等発熱源から水平距離で50cm以上離してください。)



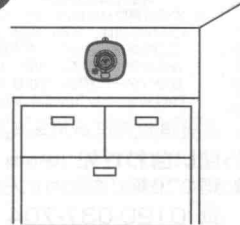
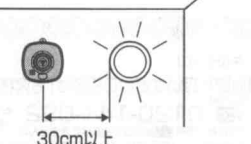
背の高い家具の上など



浴室など水や湯気のかかる場所や結露する場所



照明器具の近く
(照明器具から30cm以上離してください。)



取り付け方法



取り付け後は必ずテストを行い、正常に動作する事を確認してください。

壁面への取り付け

■引掛フックを使用した取り付け

※取付板は使用しません。

① 取り付けは補強材などが通っている平坦で丈夫な場所を選び、付属の取付ネジ1本を途中までねじ込んでください。

② 取付板を左に回して外し、警報器の上部にある引掛フックの孔をネジに掛け、ネジを締め込んでください。

●石こうぐりを使用する場合

⚠警告

石こうぐりの先端は鋭利になっています。注意してください。

⚠注意

石こうぐりを下方から打ち込むとぐりが抜けやすく、警報器がはずれる場合があります。

取付板を左に回して外し、警報器の上部にある石こうぐり用取付孔に、付属の石こうぐりで壁に警報器をしっかり固定してください。

石こうぐりを石こうボードに打ち込む際には、図のように上方から斜めに打ち込んでください。

■取付板を使用した取り付け

① 取付板を使用する場合、警報器上部のフックは使用しません。フック部分は簡単に折れる構造になっていますので、必要に応じて折り取ってご使用ください。

●取付ネジを使用する場合

②-1 取付板を左に回して外し、取付面の補強材などが通っている平坦で丈夫な場所に、付属の取付ネジ2本でしっかりと固定してください。

●石こうぐりを使用する場合

②-2 取付板を左に回して外し、取付面の平坦な場所に、付属の石こうぐり3本で取付板をしっかりと固定してください。石こうぐりを石こうボードに打ち込む際は、図のように斜めに打ち込むとしっかりと固定できます。

③ 取付板のマークと警報器下部を図のように重ね、警報器が止まるまで右に回してください。警報器を取り外す場合には、左に回してください。

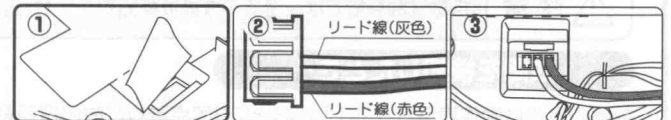
天井面への取り付け

天井面に警報器を取り付ける場合は、前記「壁面への取り付け」の■取付板を使用した取り付けを参照し、取付板を使い取付ネジを使用して取り付けてください。

4 コネクタ式移報リード線の取り扱い方法

⚠注意

テレビドアホンと接続した場合は、テレビドアホンの取扱説明書に基づいて動作確認を行ってください。



- ① 警報器裏面のシールを破線に沿って切り取ってください。
- ② コネクタ式移報リード線にテレビドアホン側のケーブルをつなぎます。接続するテレビドアホンのリード線を接続してください。接続部は必ずビニールテープ等で短絡保護してください。
- ③ 移報コネクタを移報端子に接続します。

5 ご使用方法

火災の場合

- 火災により熱が発生し、警報器が熱を感知すると、動作表示灯が点滅します。連続して熱を感知すると火災警報音が「ピー、ピー、ピー」と繰り返し鳴ります。
- ※熱を感知してから火災警報が鳴り始めるまでの時間は設置環境により変化します。
- 火元を確認し、119番へ通報するなど適切な処置をしてください。
- 火災の状況に応じて避難してください。



火災警報音を止めるとき

- 熱が無くなれば火災警報音は自動的に停止します。また、動作表示灯も消灯します。
- テストボタンを押すと火災警報音が一時的に停止します。周囲の熱が残っている場合は、動作表示灯が点滅し続け、約14分後に再び火災警報音が鳴ります。また、火災警報音を止めた後に、周囲の熱が無くなると、14分以内でも自動的に、熱を感知すると動作する状態にもどります。

火災以外で動作する場合

⚠注意

火災以外で動作した場合は、異常のないことを確認し、室内の換気をするか火災警報音を止めてください。警報器は取り外さないでください。

- レンジ、エアコン、ストーブなどの熱がかかった時
- 調理の熱などがかった時
- ※頻繁に動作すると電池寿命が短くなる場合があります。

テストのしかた

※このテストは警報器の機能と警報音を確認するものです。

⚠警告

高い所での作業ですので、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようにご注意ください。

- 点検の時、ライターなどの炎を使用しないでください。警報器の故障や火災の原因になります。
- 正しくご使用いただいても、電池の消耗や故障などで正常に動作しない場合があります。下記の要領で1か月に1回、および1週間以上留守にされた時、正常に動作するかテストを行ってください。

- ① テストボタンを押して、「ピッ」と鳴ったら手をはなす。
- ② 警報音が「ピー、ピー、ピー」と鳴り、動作表示灯が点滅することを確認する。
- ③ 警報音が鳴り、動作表示灯が点滅すれば正常です。

※テレビドアホンや増設ブザーなどを接続している場合「ピッ」と鳴った後、「ピッピッ」と鳴るまでテストボタンを操作し続けると、約1分間移報出力の確認ができます。移報出力中は動作表示灯が点滅します。もう一度操作すると移報出力が止まります。

警報音が鳴らない場合、または動作表示灯が点滅しない場合は「9.故障かな?...と思ったら」をお読みください。